

# 平成29年Y8サミット創快横手市議会 事業報告・代表質問要旨

■ 期 日      平成29年11月13日（月）

## ■ 事業報告の順序

順番	学 校 名	議席番号	議 員 名	頁
1	横手清陵学院中学校	2番	大庭 虎太郎 議員	1
		9番	能美 創一 議員	
		8番	照井 彩華 議員	
2	横手南中学校	6番	高橋 勇輝 議員	1
		5番	熊谷 爽騎 議員	
		7番	渡辺 千尋 議員	
3	横手北中学校	22番	山石 奏人 議員	1
		23番	佐藤 颯太 議員	
		21番	高橋 ひより 議員	
4	平鹿中学校	13番	遠藤 匠朗 議員	2
		14番	森屋 元 議員	
		12番	柴田 芽衣 議員	
5	横手明峰中学校	25番	渡辺 巧真 議員	2
		26番	永沼 洋輝 議員	
		24番	白石 楓 議員	
6	十文字中学校	19番	小西 蓮 議員	2
		20番	菅原 知弥 議員	
		18番	遠藤 珠羽 議員	
7	増田中学校	16番	伊藤 遥貴 議員	3
		17番	佐藤 大海 議員	
		15番	小原 蒼士 議員	
8	山内中学校	3番	佐々木 颯大 議員	3
		11番	永沢 駿 議員	
		10番	藤井 夏凜 議員	

## ■ 代表質問の順序

1	山内中学校	3番	佐々木 颯 大 議員	4
2	横手南中学校	6番	高 橋 勇 輝 議員	5
3	十文字中学校	20番	菅 原 知 弥 議員	6

## 1. 横手清陵学院中学校



2番	大庭	虎太郎	議員
9番	能美	創一	議員
8番	照井	彩華	議員

〔事業報告〕 清陵学院中学校のマナーアップ運動について

## 2. 横手南中学校



6番	高橋	勇輝	議員
5番	熊谷	爽騎	議員
7番	渡辺	千尋	議員

〔事業報告〕 交通安全に関するマナーアップの取組について

## 3. 横手北中学校



22番	山石	奏人	議員
23番	佐藤	颯太	議員
21番	高橋	ひより	議員

〔事業報告〕 マナーアップ活動・地域行事への参加、ボランティアについて

#### 4. 平鹿中学校



13番	遠藤	匠朗	議員
14番	森屋	元	議員
12番	柴田	芽衣	議員

〔事業報告〕平鹿のマナーアッププロジェクトについて

#### 5. 横手明峰中学校



25番	渡辺	巧真	議員
26番	永沼	洋輝	議員
24番	白石	楓	議員

〔事業報告〕マナーアップをテーマとした生徒会活動について

#### 6. 十文字中学校



19番	小西	蓮	議員
20番	菅原	知弥	議員
18番	遠藤	珠羽	議員

〔事業報告〕十文字中学校での取組について

## 7. 増田中学校



16番 伊藤 遥貴 議員  
17番 佐藤 大海 議員  
15番 小原 蒼士 議員

〔事業報告〕 増田中のマナーアップ活動について

## 8. 山内中学校



3番 佐々木 颯大 議員  
11番 永沢 駿 議員  
10番 藤井 夏凜 議員

〔事業報告〕 山内中学校のマナーアップに関する取組について

# 1. 山内中学校



## 3番 佐々木 颯 大 議員

〔代表質問〕 情報端末利用をコントロールし、家族の団らんの時間を生み出す『横手市家族ふれあいDay』の実施について

先ほどの報告に関連し、Y8として、情報端末利用に関する取組を提案させていただきます。

情報端末利用に関するマナーアップ活動を通し、端末の利用時間をコントロールすることで、健康面や学習面においてメリットがあることがわかりました。

そこで、この良さを全市に広げるために、『横手市家族ふれあいDay』という取組を考えました。スマホやタブレットなどの情報端末や、テレビ・ビデオなどの電子メディアを「家族全員そろって1時間使わない日」を設定し、家族のふれあいの時間を作るという取組です。家族全員が、同じ場所で同じ時間を過ごすことで、会話が増え、お互いの理解、絆が深まると思います。SNS等での間接的コミュニケーションではなく、顔と顔を合わせての直接的コミュニケーションをしましょう！というものです。

具体的には、この取組を広報するチラシを作成し、市報と一緒に全市に配付します。表紙デザインは、初年度は小中学生から募集したデザインを使用、次年度以降は広報チラシや市HP上でデザインを一般募集します。チラシ裏には、取り組んだ感想や意見を記入してもらい、紙媒体やFAXにて、地域の中学校あてで出してもらい、それをもとに次年度への取組の反省材料として活用します。

私たち中学生の活動が、全市へと広がり、家族のつながりも深まる、この提案について、どのようにお考えでしょうか。ご意見を伺いたいと思います。

## 2. 横手南中学校



6番 高橋 勇輝 議員

### 〔代表質問〕 交通マナーアップについて

毎年、春と秋に交通安全週間が設定され、各地区や学校ごとに街頭指導が行われております。その運動の重点として、①子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止②夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止③全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底④飲酒運転の根絶があげられていると伺いました。

そこで、この重点の半数以上に関係する小学生や中学生の代表も街頭指導に同行し、地域の方々や横手市交通安全協会の方々と協力しながら、交通マナー向上に向けた呼びかけを行ってはどうでしょうか。小学生や中学生にとっては、自分たちの友人が呼びかけに参加することで、今まで以上に交通安全に対して当事者意識をもつことにつながると思いますし、大人にとっては、子ども達からも呼びかけられることで今まで以上に交通マナーを守ろうという気持ちを高めることにつながると思います。また、可能であれば各学校で呼びかけのプラカードやプリントなども作成することで、より効果の高い運動になると思います。この政策提案についてどのようにお考えでしょうか。

### 3. 十文字中学校



20番 菅原 知弥 議員

#### 〔代表質問〕 横手市民歌フォトコンテストについて

昨年度のY8サミット市議会において、私たちの先輩の菅原紋さんによって「横手市民歌フォトコンテスト」の実施を提案させていただきました。これは、市民歌の中で歌われている横手の春夏秋冬を撮影することで、横手の自然を市民に知ってもらうことを目的にしており、また、写真で横手を代表するモザイクアートを制作して設置するなど、広がりのあるイベントにすることができるのではないかという思いで提案させていただきました。その提案が今年度実施されたこと伺い、とても嬉しく思いました。ありがとうございました。

そこでまず、今年度の「横手市民歌フォトコンテスト」について、応募総数および受賞作品の活用がどのように行われているのかをお伺いしたいと思います。

また次に、来年度以降もこのコンテストの実施を予定されている場合、私たち中学生や小学生、高校生にも学校宛の書面にてご連絡いただくことの可否についてです。今年度のコンテストの実施について横手市のHP上で募集があったようですが、そのことを周知している小・中・高生は残念ながら少ないと思います。各校にご連絡いただければ、市内に通う全ての小・中・高生が知ることもなります。そのことにより応募数も増加し、横手市の美しい風景とともに横手市民歌をより広く知ってもらえるのではないかと思います。日々の登下校などで児童生徒が感じている横手市の美しさを多くの人に知ってもらう機会となるとはと思いますがいかがでしょうか。